

**DISCLOSURE**

**都職信の現況**

令和3年度上半期経営情報

**2021**





# 令和3年度上半期の経営情報をお知らせいたします。

〈令和3年4月1日～令和3年9月30日まで〉

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計が一致しない場合があります。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	令和3年3月末	令和3年9月末	増減
現金	104	75	△ 29
預け金	35,624	36,764	1,140
有価証券	12,182	12,562	380
貸出金	38,831	39,088	257
その他資産	757	757	0
有形固定資産	66	58	△ 8
無形固定資産	35	26	△ 9
繰延税金資産	—	—	—
貸倒引当金	△ 58	△ 41	17
資産の部合計	87,544	89,292	1,748

負債及び純資産の部	令和3年3月末	令和3年9月末	増減
預金積金	74,416	74,530	114
借入金	2,900	4,500	1,600
その他負債	157	102	△ 55
賞与引当金	14	15	1
退職給付引当金	129	138	9
役員退職慰労引当金	15	5	△ 10
睡眠預金払戻損失引当金	0	0	0
繰延税金負債	484	509	25
負債の部合計	78,119	79,802	1,683
出資金	227	228	1
利益剰余金	7,403	7,410	7
その他有価証券評価差額金	1,793	1,850	57
純資産の部合計	9,424	9,489	65
負債及び純資産の部合計	87,544	89,292	1,748

## 損益の状況

最終利益は黒字を確保

(単位：百万円)

区分	令和2年9月末	令和3年9月末	増減
①業務粗利益(②+③+④)	388	378	△ 10
②資金運用収支	393	403	10
③役員取引等収支	△ 43	△ 44	△ 1
④その他業務収支	39	20	△ 19
⑤経費	281	276	△ 5
⑥その他経常損益	△ 5	4	9
⑦経常利益(①-⑤+⑥)	101	106	5
⑧特別損益	—	—	—
⑨法人税等(税効果含む)(△)	28	26	△ 2
⑩当期純利益(⑦+⑧-⑨)	72	79	7



©TOSHOKUSHIN

## 業務純益の状況

(単位：百万円)

区分	令和2年9月末	令和3年9月末	増減
業務純益 <sup>※1</sup>	106	102	△ 4
実質業務純益 <sup>※2</sup>	107	102	△ 5
コア業務純益 <sup>※3</sup>	105	102	△ 3
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	105	102	△ 3

※1は、金融機関の本業におけるもうけを示す金融機関固有の利益指標です。具体的には、「業務粗利益」から業務遂行に必要とされる費用、即ち「経費」と「一般貸倒引当金繰入額」を控除したものです。  
 ※2は、「業務純益」に、特殊な要因で変動する「一般貸倒引当金繰入額」を加算したものです。  
 ※3は、「実質業務純益」から「国債等債券損益」を減算したものです。

## 預金積金

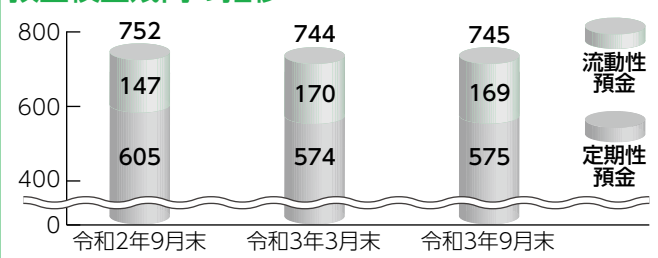
定期性預金が増加した一方で、流動性預金が減少し、預金積金残高は令和3年3月末比1億円増加。

(単位：百万円)

区 分	令和3年9月末
預金積金残高	74,530
(流動性預金)	16,988
(定期性預金)	57,542

## 預金積金残高の推移

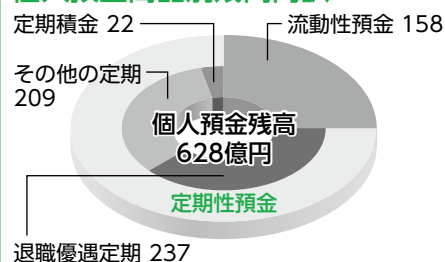
(単位：億円)



## 令和3年度上期 主要な個人預金増強策

- ◆退職優遇定期預金(退職後1年以内) ……預入期間1年=0.26%
- ◆第1弾100周年記念サマー定期預金 ……預入期間1年=0.2%
- ◆第2弾100周年記念新規組合員様向けプレミアム定期預金 …預入期間1年=0.15%
- ◆新入職員限定マイプラン積金 ……積立期間3年=0.5%

## 個人預金商品別残高内訳 (単位：億円)



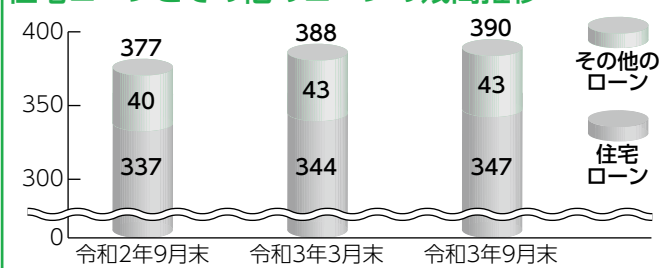
## 貸出金

「住宅ローン」の実行額が好調につき、令和3年3月末比2億円増加

(単位：百万円)

区 分	令和3年9月末
貸出金残高	39,088
(住宅ローン)	34,703
(その他のローン)	4,384

## 住宅ローンとその他のローンの残高推移 (単位：億円)



## 令和3年度上期 主要な新規貸出金実績

- ◆住宅ローン 店頭金利から更に引下げた金利を適用
  - 店頭金利 当初適用金利
  - ・金利変動 2.475% → 1.175%
  - ・実績→90件 2,557百万円
- ◆マイカーローン
  - 店頭金利 キャンペーン金利
  - ・金利変動 1.95% → 1.4%
  - ・固定 2.1% → 1.7%
  - ・実績→168件 417百万円
- ◆教育ローン
  - 店頭金利 キャンペーン金利
  - ・金利変動 2.2% → 1.5%
  - ・実績→113件 111百万円

※金利は令和3年9月末時点

## ご融資の利便性向上を目的とした取り組み ～「借りやすく」「返しやすい」～

### WEB 事前審査

### 住宅ローン

### 無担保ローン

### カードローン

ご来店不要で、当組合のホームページから簡単な情報を入力するだけで事前審査ができます。

本審査に向けて迅速に判断し、原則、お申込みいただいた翌日から、二営業日以内に回答します。

▼WEB事前審査



### 融資商品を通じた 利益還元 利用分量配当の実施

決算で剰余金が生じた場合、1年間にお支払いいただいたお利息の一部を配当として還元しております。令和2年度は創立100周年を記念して2割増配とし、利用分量配当実績12%

### 給与控除で 自動返済

ご返済は給与控除で口座管理不要です。

### お忙しい方には、 訪問相談サービスを実施

WEBで訪問相談予約を受付しております。営業担当者が、ご相談・お申込みで、お客様の職場等へ伺います。

### NEW!

### オンライン融資相談 サービス開始予定

令和3年12月より、Zoomでのオンライン融資相談サービスを開始予定。

### 都職信住宅ローンは 各種費用不要

「団体信用生命保険料」「保証料」「繰上返済手数料」すべて0円。

### 毎月第1・第3土曜日は 住宅ローン相談会

予約制となります。詳細は、お問い合わせください。融資課 ☎03-3349-1402

# 自己資本比率の状況

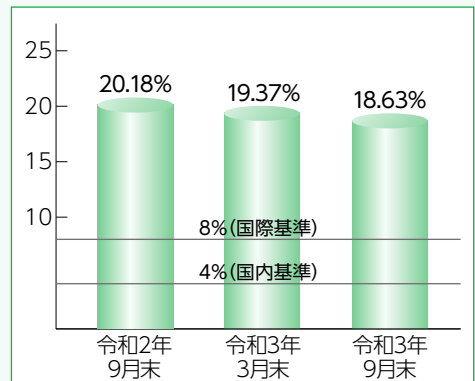
令和3年9月末の自己資本比率は18.63%と国際基準をも大きく上回る水準を維持

自己資本比率は、金融機関の経営体力を示す指標であり、海外に営業拠点をもつ金融機関には国際基準8%、それ以外の金融機関には国内基準4%が適用されます。

都区職員の皆様が安心してご利用いただけるように、今後も引き続き健全経営を行ってまいります。

(単位：百万円)

項目	令和3年9月末	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,647	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定の額	7,639	
コア資本にかかる基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	19	
自己資本の額(イ)-(ロ) (ハ)	7,628	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	40,931	
自己資本比率(ハ)/(ニ)	18.63%	



(注)自己資本比率は、協同組合による金融事業に関する法律第六条第一項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第22号に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。

# 不良債権の状況

貸出金総額に対する不良債権比率は0.16%と極めて低水準

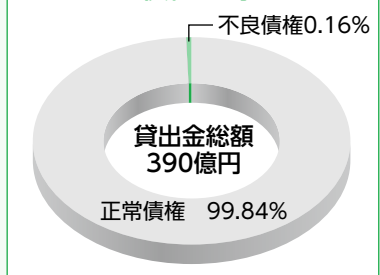
令和3年9月末における不良債権額は、63百万円となり、担保・保証・貸倒引当金等により全て保全されております。

## ●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区分	残高	担保・保証・貸倒引当金等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権※1	24	24	100
危険債権※2	39	39	100
要管理債権※3	—	—	—
不良債権計	63	63	100
正常債権	39,053		
合計	39,117		

## リスク管理債権の割合



「金融再生法上の開示債権」は、貸出金のほか貸出金に準ずるその他債権を対象としております。令和3年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、簡便な方法により算出しております。従って令和3年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

※1は、破産、民事再生手続き等の事由に該当する債権など

※2は、債務者の財政状態が悪化するなどの影響で、元本の回収及び利息の受取ができない可能性が高い債権など

※3は、3ヶ月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権

# 有価証券の状況

有価証券の運用については、超低金利環境が長期化するなか、発行体の信用力やリスク量等に十分配慮し、時間と銘柄の分散を図った債券新規投資を軸に、安定した収益の確保に努めております。

不透明な環境の下、引き続きリスク管理を徹底し、慎重な運用を行ってまいります。

## その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区分	令和3年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
株式	98	277	178	178	—
債券	7,901	8,012	110	111	0
その他	2,155	4,272	2,117	2,117	—
合計	10,155	12,562	2,407	2,407	0

※その他には投資信託等が含まれます。

※売買目的有価証券及び満期保有目的の債券に区分した有価証券はありません。

令和3年11月 発行